

## 令和2年度 第3回 教育研究評議会 議事要録

日 時 令和2年6月8日（月）14：00～15：00

場 所 ※ ビデオ会議システムにより開催

構成員 学長，総括理事・副学長，理事・副学長（教育担当），理事・副学長（研究担当），  
理事・副学長（財務担当）・事務局長，理事・副学長（法務労政担当），山田，植松，  
須佐，近藤，中井，上田，久堀，橋本，山室，三原，井村，高田，桑田，屋井，伊東，  
岡田，久世，店橋，安藤，西畑，和地，朝倉，弓山，穂田，中村（健），齋藤の各評議員  
（構成員以外）榎並監事，三矢監事，センター長等会議主査，附属科学技術高等学校長，  
オープンファシリティセンター副センター長

### 資 料

- 1-1. 平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）  
に係る業務の実績に関する報告書
- 1-2. 指定国立大学法人構想にかかる参考指標等 令和元年度（2019年度）実績
- 1-3. 中期目標の達成状況報告書（案）
- 2-1. 大学機関別認証評価の受審機関の決定について
- 2-2. 大学改革支援・学位授与機構 大学機関別認証評価 大学評価基準
- 3-1. 国立大学法人東京工業大学共同研究取扱規則一部改正案新旧対照表
- 3-2. 国立大学法人東京工業大学受託研究員取扱要項一部改正案新旧対照表
- 4-1. 東京工業大学環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程に対する認証評価結果
- 4-2. 認証評価結果（委員会案）に対する意見への対応
5. HPに掲載された研究に関連する表彰等の一覧
6. 学内における感染防止策について
7. 平成30年度監事監査報告書への対応について
8. スーパーグローバル大学創成支援事業を活用したコロナ時代の国際化取組募集（通知）
9. 「理科教育振興支援」【一ものづくり人材の裾野拡大支援プロジェクト】第1次応募要項
10. 令和2年度役員会等開催日程【令和2年6月変更版】

○ 令和2年度第2回教育研究評議会議事要録（案）の承認

### ○ 審議事項

1. 第3期中期目標期間にかかる4年目終了時評価の報告書について

佐藤理事・副学長から，資料1-1から資料1-3に基づき，6月末に文部科学省の国立大学法人評価委員会に提出する「平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書」及び大学改革支援・学位授与機構に提出する教育研究の状況の評価にかかる「中期目標の達成状況報告書」について説明があり，審議の結果，これを了承した。

また，今後，軽微な修正等が生じた場合は学長に一任願いたい旨の提案があり，これを承認した。

## 2. 大学機関別認証評価の受審機関の決定について

佐藤理事・副学長から、資料2-1及び資料2-2に基づき、認証評価は7年以内毎に受ける必要があり、本学は前回平成26年度に受審していることから、次期の評価を令和3年度に受審すること、及び前回と同様に大学改革支援・学位授与機構が実施する認証評価を受審することについて説明があり、審議の結果、これを了承した。

## 3. 国立大学法人東京工業大学共同研究取扱規則及び国立大学法人東京工業大学受託研究員取扱要項の一部改正について

渡辺理事・副学長から、資料3-1及び資料3-2に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策に伴う措置を含め、天災事変又は社会情勢により民間等共同研究員、受託研究員の受入れを中断する場合に、当該民間共同研究員、受託研究員の研究料の免除又は返還を行うことができるようにするため、関係取扱要項において所要の改正を行うことについて説明があり、審議の結果、これを了承した。

## ○ 報告事項

### 1. 東京工業大学環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程の認証評価結果について

佐藤理事・副学長から、資料4-1及び資料4-2に基づき、令和元年度に受審した財団法人大学基準協会による環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程に対する認証評価結果について報告があった。

### 2. 直近の主な研究に関連する受賞・表彰について

渡辺理事・副学長から、資料5に基づき、過去1か月程度の研究に関連する受賞・表彰について報告があった。

### 3. 学内における感染防止策について

藤野理事・副学長から、資料6に基づき、新型コロナウイルス感染症に伴う学内における感染防止策について報告があった。

### 4. 平成30年度監事監査意見書への対応について

学長から、資料7に基づき、平成30年度監事監査意見書への対応について説明があった。

## ○ 教育研究に関する諸問題について

・山田評議員から、新型コロナウイルス感染症に対する学生への緊急経済支援策について、休学や留年した学生が対象外になっているという話を聞くので全学的な経済支援を検討してほしい旨の発言があった後、意見交換が行われた。

・久堀評議員から、大学院修士課程1年生の学生が登校できない状況なので、ケアする必要があると思っている旨の発言があった後、意見交換が行われた。

- ・山田評議員から、学外研究施設についてはいつから出張できるのか、また、これまでの研究実施は研究室単位での行動になっているが、今後学生が登校してきた際に学生スペースが共有になっているところがあり、密になりやすい状況なので利用方法を工夫する必要があるという発言があった後、意見交換が行われた。

## ○ その他

### 1. SGUを活用したコロナ時代の国際化取組募集について

佐藤理事・副学長から、資料8に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響により、本学の国際化の方針を大きく転換せざるを得ない状況となっていることを踏まえ、スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）補助金を活用し、コロナ時代を見据えた本学の国際化にかかる先行投資を行うために各部局から取組を募集することについて説明があった。

### 2. 理科教育振興支援（ものづくり人材の裾野拡大支援プロジェクト）の募集について

佐藤理事・副学長から、資料9に基づき、東工大基金を活用した社会貢献を促進するため、理科教育振興支援（ものづくり人材の裾野拡大支援プロジェクト）の募集について説明し、各部局におけり周知及び協力依頼があった。

### 3. 次回開催について

学長から、今回は、令和2年7月3日（金）13：30から、ビデオ会議システムにより開催する旨、案内があった。

以 上